

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	コスモス棟 普段の生活の中で、個々の能力に応じた作業・創作活動を実践しているが、一部の方のみや内容がマンネリ化している。個々のレベルや要望に更に合わせた活動を取り入れたい。	望む生活の実現にむけて・・・個人の出来る事・出来ない事、興味ある事は別であり、行なう活動内容は違っても「その人らしく生活する」ことで同じ目標に向かって進むことができる。	・集団プログラムは継続する。 ・担当職員による個々のニーズの再検討と具体化 ・多方面での聞き取りを行い、優先順位をつける。	12ヶ月
2	13 23	ゆり棟 認知症についての理解不足・介護技術や知識不足が見られる職員もおり、適切な介護が充分ではない。また外出を好まない利用者・出来ない利用者に対してサービスの不平等がある。	認知症についての理解を深め、介護技術や知識の向上を図る。 個々の利用者の要望を聞き、ニーズに合わせたサービスを提供する。	利用者に関わる時間を増やし要望を常に把握できるようにする。施設内外の研修に参加し技術と知識の向上を図り伝達講習を行なう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。